

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No.129

平成23年6月16日発行
近畿学校保健学会事務局
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学医学部衛生学教室内
TEL&FAX:073-441-0646
URL:<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>
E-mail:kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

1 . 第58回近畿学校保健学会のご案内	2
2 . お知らせ	7
3 . 研究室だより	12
4 . 第3回幹事会議事録	13

会費納入と会員勧誘についてのお願い

本学会は会員の皆様の年会費を主な財源として運営しております。
昨年度の滋賀県の学会から年次学会への援助が激減しております。
また各都府県の幹事の先生方には旅費もなしで、まさにボランティア精神
で運営に携わっていただいております。郵便振替用紙を同封しておりますので、
年会費3,000円を振込みいただきますようお願いいたします。
会員の皆様には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますようお願い
申し上げます。
なお、入会案内パンフレットはホームページからもダウンロード出来ます
のでご利用下さい。

ご挨拶

第58回近畿学校保健学会

学会長 森岡郁晴

第58回近畿学校保健学会をお世話させていただくにあたり、歓迎と感謝のご挨拶を申し上げます。

本年3月の東日本大震災でお亡くなりになられた方々に心からのお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。震災では多くの学校も被災しました。多くの被災者が学校の体育館や教室に避難しているようです。このような状況でも新学期が始まり、学校においても次第に復旧復興が進んでいるようです。

さて、本学会は、和歌山県立医科大学保健看護学部で開催させていただきます。学会場の近くには紀三井寺があり、早咲き桜の名所として知られています。また、和歌の浦があり、古代万葉人はこの風光明媚な地に多くの短歌を残しています。このような豊かな自然に恵まれた癒しの地での開催ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

本学会の教育講演は、兵庫県立リハビリテーションセンターの三池輝久所長に「子どもが伸びる睡眠とは」でご講演いただきます。先生は子ども達の慢性疲労症候群や睡眠障害を研究されており、この分野の第一人者です。今回は、睡眠と脳の成長の関係を中心にお話いただく予定です。

ところで、インターネットの情報にはアダルトサイトや自殺サイトといった有害情報が数多く含まれ、子ども達が犯罪や被害に巻き込まれる危険が高いことから、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が施行され、子ども達が有害情報を閲覧する機会が少なくなりました。しかし、学校においてはネットいじめや学校裏サイトがあり、子ども達が「被害者」や「加害者」になっています。子ども達が安心・安全に過ごすためには、ネット環境においても学校保健に携わる方々の協力が重要であります。

そこで、シンポジウムのテーマは「子ども達を取り巻くネット環境の実態とその対応」としました。学校の管理者、養護教諭、そしてネット犯罪を予防する担当者、さらに、ネットいじめを研究された教諭、それぞれの立場からお話しいただき、参加者の皆様と今後の対応を探っていきたいと思います。

一般演題は33題の申し込みをいただきました。いずれも日頃の学校生活の場で問題になっている事柄や関心深いテーマであります。会場での熱い議論を期待しています。本学会では、一般演題を発表した大学院生、若手研究者の中から年次学会賞を選ばせていただきます。若い方々の価値ある研究を顕彰して、これからの発展につながればいいと思っています。

さらに、昼食懇談会も企画しました。一般演題発表後に座長との懇談を含め、参加者相互の交流の場になることを希望しています。これらの企画が参加者にとって有意義なものとなり、今後の学校保健の場や研究活動のお役立つことを願っています。

最後になりましたが、多くのご後援、そして、本学会の運営にご尽力いただいた多くの先生に厚くお礼申し上げます。

第58回近畿学校保健学会プログラム

9:30	受付開始 【受付場所：管理・校舎棟 1階学生ホール前ロビー】
10:00	一般演題発表 A会場 【会場：研究棟 1階大講義室】 B会場 【会場：図書館棟 1階第5講義室】 C会場 【会場：図書館棟 1階第6講義室】
12:15	昼食懇談会 【会場：管理・校舎棟 1階学生ホール】
13:20	評議員会・総会 【会場：A会場（研究棟 1階大講義室）】
14:00	教育講演 【会場：A会場（研究棟 1階大講義室）】 講師：三池輝久（兵庫県立総合リハビリテーションセンター所長） 「子どもが伸びる睡眠とは」 座長：宮下和久（和歌山県立医科大学医学部）
15:00	シンポジウム 【会場：A会場（研究棟 1階大講義室）】 「子ども達を取り巻くネット環境の実態とその対応」 シンポジスト ・岡 利哉（和歌山市立西浜中学校） ・東尾真紀子（和歌山県立桐蔭中学校） ・中岡 隆（和歌山県警察本部） ・寺戸武志（兵庫県伊丹市立北中学校） 座長：森岡郁晴（和歌山県立医科大学保健看護学部）
17:00	表彰式・閉会式 【会場：A会場（研究棟 1階大講義室）】
(17:30)	(懇親会会場へのバス出発)
18:00	懇親会 【会場：ホテルアパローム紀の国（羽衣の間）】
19:30	

一般演題 10:00～12:01**【A会場】(研究棟1階 大講義室)****保健学習・保健教育** 10:00～10:44 **座長 白石龍生(大阪教育大学)**

- A - 1 小・中・高の12年間の保健学習の系統性についての研究
浅井千恵子¹⁾，井上文夫²⁾
1) 京都教育大学大学院，2) 京都教育大学
- A - 2 保健の授業を改善・促進するための意識調査
前川 麓¹⁾，井上文夫²⁾
1) 京都教育大学大学院，2) 京都教育大学
- A - 3 中学校保健学習の小単位に対する難易の意識および関連要因
上田裕司¹⁾，鬼頭英明¹⁾，西岡伸紀¹⁾，中園伸二²⁾
1) 兵庫教育大学大学院，2) びわこ成蹊スポーツ大学
- A - 4 中学校保健分野の医薬品に関する授業実践
上田裕司，西岡伸紀，鬼頭英明(兵庫教育大学大学院)

保健学習・保健教育 10:44～11:17 **座長 大矢紀昭(京都市子ども事故防止センター)**

- A - 5 保健教育(保健学習)における模擬授業の効果
高井聰美¹⁾，嶋田 博¹⁾，鍵岡正俊¹⁾，大川尚子²⁾
1) 関西女子短期大学，2) 関西福祉科学大学
- A - 6 教科学習と連携する食に関する指導を実践するためのe-learningシステムの開発
坂本達昭¹⁾，鉄谷佳代²⁾，春木 敏¹⁾
1) 大阪市立大学大学院生活科学研究科，2) 三好市立櫛生小学校
- A - 7 生活習慣への介入としての健康教育の実践とその効果
藤原 寛¹⁾，井上文夫²⁾
1) 京都府立医科大学小児科，2) 京都教育大学

養護教諭・保健室 11:17～12:01 **座長 北口和美(大阪教育大学)**

- A - 8 養護教諭が行っている月経痛への対処法の授業
平田まり，大川尚子，大野太郎，野口法子(関西福祉科学大学)
- A - 9 養護教諭が行う健康相談のプロセスの検討(第3報)健康相談記録・校内連携用シートの活用
福島直子¹⁾，志村美好²⁾，播磨谷澄子³⁾，地海和美⁴⁾，住吉由加⁵⁾，川端典子⁶⁾，増倉さおり⁷⁾，
中尾香織⁸⁾，板持紘子⁹⁾，林 正¹⁰⁾
1) 大津市立仰木中学校，2) 大津市立真野中学校，3) 大津市立雄琴小学校，
4) 栗東市立治田東小学校，5) 栗東市立大宝小学校，6) 野洲市立野洲北中学校，
7) 近江八幡市立老蘇小学校，8) 滋賀大学附属中学校，9) 滋賀医科大学，10) 滋賀大学
- A - 10 養護教諭志望学生の学習意欲向上と深化のための「授業通信」の試行
古角好美(大阪女子短期大学)
- A - 11 発達障害のある児童生徒支援における養護教諭の役割についての一考察
古川恵美¹⁾，松嶋紀子²⁾
1) 大阪大学大学院医学系研究科，2) 川崎医療福祉大学

B会場（図書館棟1階 第5講義室）**発育・発達 10:00～10:44 座長 藤原 寛（京都府立医科大学小児科）**

- B - 1 中国の日本人幼稚園に通う園児の社会性の発達状況
大西修平¹⁾，内海みよ子¹⁾，森岡郁晴¹⁾，大川尚子²⁾
1) 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科，2) 関西福祉科学大学
- B - 2 離島の高校生のストレス状態（第3報）
大川尚子¹⁾，平田まり¹⁾，大野太郎¹⁾，野口法子¹⁾，高井聰美²⁾，永井純子³⁾，井澤昌子⁴⁾，森岡郁晴⁵⁾
1) 関西福祉科学大学，2) 関西女子短期大学，3) 福山平成大学，4) 名古屋学芸大学，5) 和歌山県立医科大学保健看護学部
- B - 3 小児期から成人にいたるまでのBMIの動きについて
後和美朝¹⁾，五十嵐裕子²⁾，³⁾，野澤章子⁴⁾，相馬美年子⁵⁾，宮下和久³⁾，武田眞太郎³⁾
1) 大阪国際大学，2) 園田学園女子大学，3) 和歌山県立医科大学医学部，4) 西宮市教育委員会，5) 西宮市立西宮高校
- B - 4 成熟度を利用した身長将来予測の可能性について
五十嵐裕子¹⁾，²⁾，後和美朝³⁾，三野 耕⁴⁾，内海みよ子⁵⁾，宮井信行⁵⁾，宮下和久²⁾，武田眞太郎²⁾
1) 園田学園女子大学，2) 和歌山県立医科大学医学部，3) 大阪国際大学，4) 大阪産業大学，5) 和歌山県立医科大学保健看護学部

危険行動及びネット環境 10:44～11:28 座長 西岡伸紀（兵庫教育大学学校教育学部）

- B - 5 中国青少年の性にかかわる危険行動とその防止教育の現状と課題
李 美錦，宋 昇勲，菱田一哉，堺 千紘，陳 曦，今出友紀子，川畑徹朗，辻本悟史，中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- B - 6 中学生の医薬品の使用行動の実態とその関連要因 - 予備的調査の結果より -
堺 千紘，宋 昇勲，李 美錦，菱田一哉，陳 曦，今出友紀子，川畑徹朗，辻本悟史，中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- B - 7 インターネット上の性に関する情報への接触と青少年の性に対する態度や行動との関係
- 埼玉県A中学校における縦断研究の結果から -
宋 昇勲，今出友紀子，菱田一哉，李 美錦，堺 千紘，陳 曦，川畑徹朗，中村晴信，辻本悟史（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- B - 8 女子大学生のインターネット依存度と携帯電話使用状況との関わり
白石龍生¹⁾，上野奈初美²⁾
1) 大阪教育大学，2) 大阪成蹊短期大学

食行動 11:28～12:01 座長 春木 敏（大阪市立大学大学院生活科学研究科）

- B - 9 自己の肥満度を誤認することと摂食障害のリスクとの関連性
磯寄由紀（大阪河 里リハビリテーション大学），倉澤茂樹（関西福祉科学大学）
- B - 10 高校生の食行動異常に影響を及ぼす危険因子について - 危険因子の男女比較より -
出水典子（奈良女子大学大学院）
- B - 11 女子中学生における不必要なダイエットの実態とその関連要因
玉井宏美，山田和子，森岡郁晴（和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科）

C会場（図書館棟1階 第6講義室）**食育・生活習慣 10:00～10:33 座長 有田幹雄（和歌山県立医科大学保健看護学部）**

- C - 1 中学生における肥満および食塩摂取量が血圧に及ぼす影響
内川友起子¹⁾，古家奈美¹⁾，宮井信行¹⁾，五十嵐裕子^{2),3)}，内海みよ子¹⁾，森岡郁晴¹⁾，
有田幹雄¹⁾，宮下和久³⁾，武田眞太郎³⁾
1) 和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科，2) 園田学園女子大学，
3) 和歌山県立医科大学医学部
- C - 2 高校生における心血管リスクの簡易指標としてのウエスト周囲径の有効性
金城有紀¹⁾，遠藤 朝¹⁾，豊泉暁子¹⁾，堀川千尋¹⁾，宮井信行²⁾，五十嵐裕子^{3),4)}，北口和美¹⁾，
内海みよ子²⁾，宮下和久⁴⁾，武田眞太郎⁴⁾
1) 大阪教育大学，2) 和歌山県立医科大学保健看護学部，3) 園田学園女子大学，
4) 和歌山県立医科大学医学部
- C - 3 医学生における食習慣と諸生活習慣・健康状態との関連
竹村重輝，福元 仁，吉益光一，宮下和久（和歌山県立医科大学医学部）

食育・生活習慣 10:33～11:06 座長 中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

- C - 4 中学校家庭科教諭の食育に関する意識 - フォーカスグループインタビューから -
宇佐美美佳¹⁾，坂本達昭²⁾，平 菜穂²⁾，子安 愛²⁾，山本信子³⁾，春木 敏²⁾
1) 羽衣国際大学人間生活学部，2) 大阪市立大学大学院生活科学研究科，
3) 大阪青山大学健康科学部
- C - 5 幼稚園教諭の食生活ならびに食育実践についての調査報告
子安 愛，春木 敏（大阪市立大学大学院生活科学研究科）
- C - 6 スポーツビジョンと生活習慣 - 運動習慣に着目して -
國方功大¹⁾，井上文夫²⁾
1) 京都教育大学大学院，2) 京都教育大学

保健管理 11:06～12:01 座長 辻井啓之（奈良教育大学保健センター）

- C - 7 学校事故に遭った児童生徒に対する養護教諭の救急搬送時のケア
森川英子¹⁾，和泉京子²⁾，上野昌江²⁾
1) 奈良県立医科大学，2) 大阪府立大学看護学部
- C - 8 小中高等学校に在籍する病気の児童生徒に対する支援体制 - 養護教諭及び保健師への調査より -
林 香織¹⁾，松下孝嗣¹⁾，前馬理恵²⁾
1) 和歌山県立みはま支援学校，2) 和歌山県立医科大学保健看護学部
- C - 9 いじめの影響とレジリエンシー，ソーシャル・サポート，ライフスキルとの関係
- 小学生と中学生の違いに着目して -
菱田一哉，今出友紀子，宋 昇勲，李 美錦，堺 千紘，川畑徹朗，辻本悟史，中村晴信
（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
- C - 10 適応指導教室に通級する児童生徒の健康評価についての一考察
- 日常の活動支援や活動日誌の分析を通して -
江寄和子¹⁾，大川尚子²⁾
1) 九州女子短期大学，2) 関西福祉科学大学
- C - 11 小学校の低・中・高学年における登校時と下校時の体温変化
永井純子¹⁾，大川尚子²⁾
1) 福山平成大学，2) 関西福祉科学大学

教育講演 14:00～15:00

A会場（研究棟1階 大講義室） 座長：宮下和久（和歌山県立医科大学医学部）

「子どもが伸びる睡眠とは」

三池 輝久（兵庫県立総合リハビリテーションセンター所長）

シンポジウム 15:00～17:00

A会場（研究棟1階 大講義室） 座長：森岡郁晴（和歌山県立医科大学保健看護学部）

「子どもを取り巻くネット環境の実態とその対応」

シンポジスト

岡 利哉（和歌山市立西浜中学校）

東尾真紀子（和歌山県立桐蔭中学校）

中岡 隆（和歌山県警察本部）

寺戸武志（兵庫県伊丹市立北中学校）

お知らせ

平成23年度「メディアリテラシーと子どもの健康調査研究」研修会

1. 主催：（財）日本学校保健会，JKYBライフスキル教育研究会
共催：兵庫県伊丹市教育委員会，
後援（申請予定）：兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会
2. 日時：2011年7月27日（水）13:00～16:30（12:30開場）
3. 会場：伊丹市立文化会館いたみホール1F大ホール（兵庫県伊丹市宮ノ前1-1-3）
4. 参加費：無料（FAXによる参加登録が必要）
5. 申込方法，詳細等：（財）日本学校保健会ホームページ「ポータルサイト」参照

第20回JKYB健康教育ワークショップ記念シンポジウム “楽しく学んで実践できる食育”

1. 主催：JKYBライフスキル教育研究会
2. 日時：2011年7月27日（水）10:00～12:00
3. 会場：いたみホール1階大ホール（伊丹市宮ノ前1-1-3，上記研修会と同会場）
4. 参加費：無料
5. 申込方法，詳細等：JKYBホームページ「最新情報」参照

第20回JKYB健康教育ワークショップ

1. 主催：JKYBライフスキル教育研究会，共催：伊丹市教育委員会
2. 日時：2011年7月28日（木）～29日（金）（2日間）
3. 会場：いたみホール（伊丹市宮ノ前1-1-3，上記と同会場）
4. 参加費：13,000円（一般参加費：資料費，事後報告書費，懇親会費を含む）
5. 申込方法，詳細等：JKYBホームページ「最新情報」参照

運営についてのご案内

受付時間・場所

平成23年7月2日(土)9:30~

和歌山県立医科大学保健看護学部 管理・校舎棟学生ホールロビー前

受付

名誉会員

- ・名誉会員受付で名札と講演集をお受け取りください。

評議員

- ・評議員受付で参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・平成23年度年会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。年会費の納入がない場合は、当日会員と同じく参加費が2,000円となりますので、ご注意ください。

一般会員

- ・一般会員受付で参加費1,000円をお支払いの上、名札と講演集をお受け取りください。
- ・平成23年度年会費未納の方は、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。年会費の納入がない場合は、当日会員と同じく参加費が2,000円となりますので、ご注意ください。

当日会員(参加費:一般2,000円,院生1,000円,学生500円)

- ・受付で記入表を受け取り、必要事項を記入した後、参加費をお支払の上、名札と講演集をお受け取りください。

新規入会希望者

- ・受付で入会申込用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、年会費3,000円を学会事務局にお納めください。

教育講演・シンポジウムの演者

- ・受付で名札と講演集をお受け取りください。

昼食懇談会

- ・それぞれの受付で参加費1,000円をお支払いください。

懇親会(会費4,000円)

- ・懇親会に参加を希望される方は受付で会費をお支払いください。

名札には氏名・所属を各自で記入して、会場では必ずご着用ください。

一般演題発表者の方へ

前演者の講演が始まると同時に、各会場前方の次演者席にご着席ください。

口演時間7分、討論時間4分です。時間厳守をお願いします。

スライド発表はすべてコンピュータ(PC)を使用いたします。動画あるいは音声を使用されない場合は、PCは学会側で準備いたします。動画あるいは音声を使用される場合には、下記 をご参照ください。

画面の解像度はXGA(1024×768)です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますのでご注意ください。

発表データはUSBメモリで準備してください。他のメディアは受付できません。データは「発表データ作成要項」に従って作成してください。念のため、ウイルスのチェックをお願いします。動画あるいは音声を使用する場合には、以下の注意にしたがってご自身のPCをお持ち込みください。お持ち込みが可能な機種は、モニター出力端子にDsub-15ピンが装備されているものに限りです。薄型PCでは出力端子の規格が異なる場合があります。その場合には接続アダプタをご用意ください。また、学会側が準備したプロジェクターと接続できない場合に備え、「Microsoft Power Pointで作成した発表用データ」を入れたUSBメモリをバックアップとして必ずご準備ください。

発表データの作成は、Windows版Power Point 2003/2007/2010をお願いします。Macの方はWindowsに変換し、あらかじめ確認をお願いします。

フォントはOSに標準装備されたもの（MS明朝，MSゴシック，Times New Roman，Arial，Century）をご使用ください。

ファイル名は「演題番号・筆頭演者名」としてください。

発表用USBメモリは発表会場前のPC受付で受け付けます。発表セッションの30分前にはお越しください。データは発表後に、事務局で消去させていただきます。

配布資料がある場合は100部を準備し、発表30分前までに各会場の受付に提出してください。

座長の先生方へ

前座長の登壇後前方の次座長席に、ご着席ください。

受け持ち時間の進行は一任しますが、1題あたり11分以内でご進行いただきますようお願いいたします。

慣例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。年次学会事務局へ提出をお願いいたします。締め切りは平成23年7月29日(金)です。

その他

学会開催時間内は、携帯電話などの通信機器類はマナーモードにするか電源をお切りください。

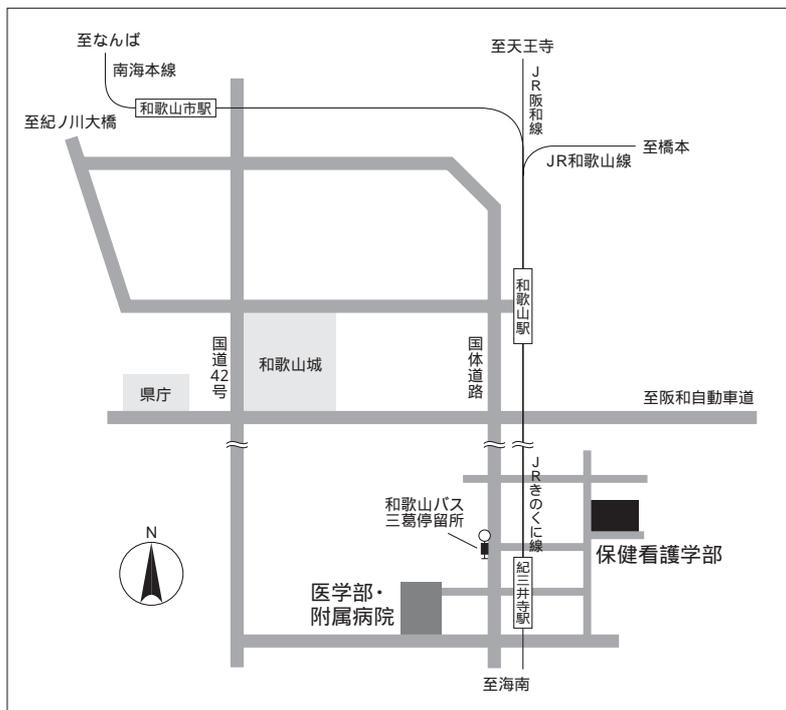
会場は禁煙です。ご協力をお願いします。

手荷物預かりのサービスは行いませんので、ご了承ください。

懇親会は18：00からホテルアバローム紀の国で行います。多数の方のご参加をお待ちしています。

駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

学会場のご案内



JR紀三井寺駅下車 徒歩約10分
 阪和自動車道 和歌山インターより 車約20分
 JR和歌山駅より和歌山バス三葛停留所下車 徒歩約10分
 天王寺駅～和歌山駅 JR阪和線(快速)約1時間

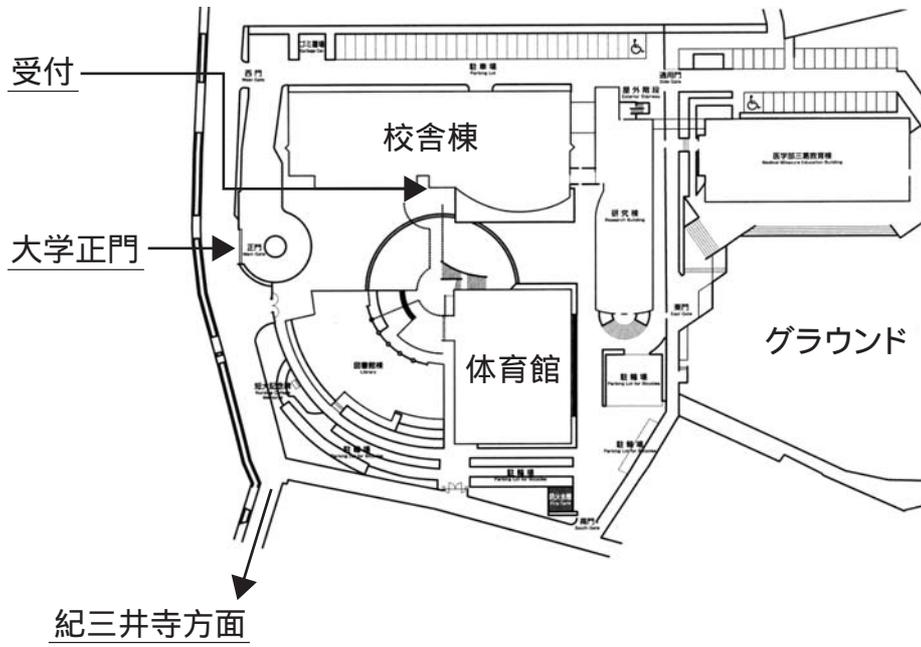
電車時刻表

往路 紀州路快速

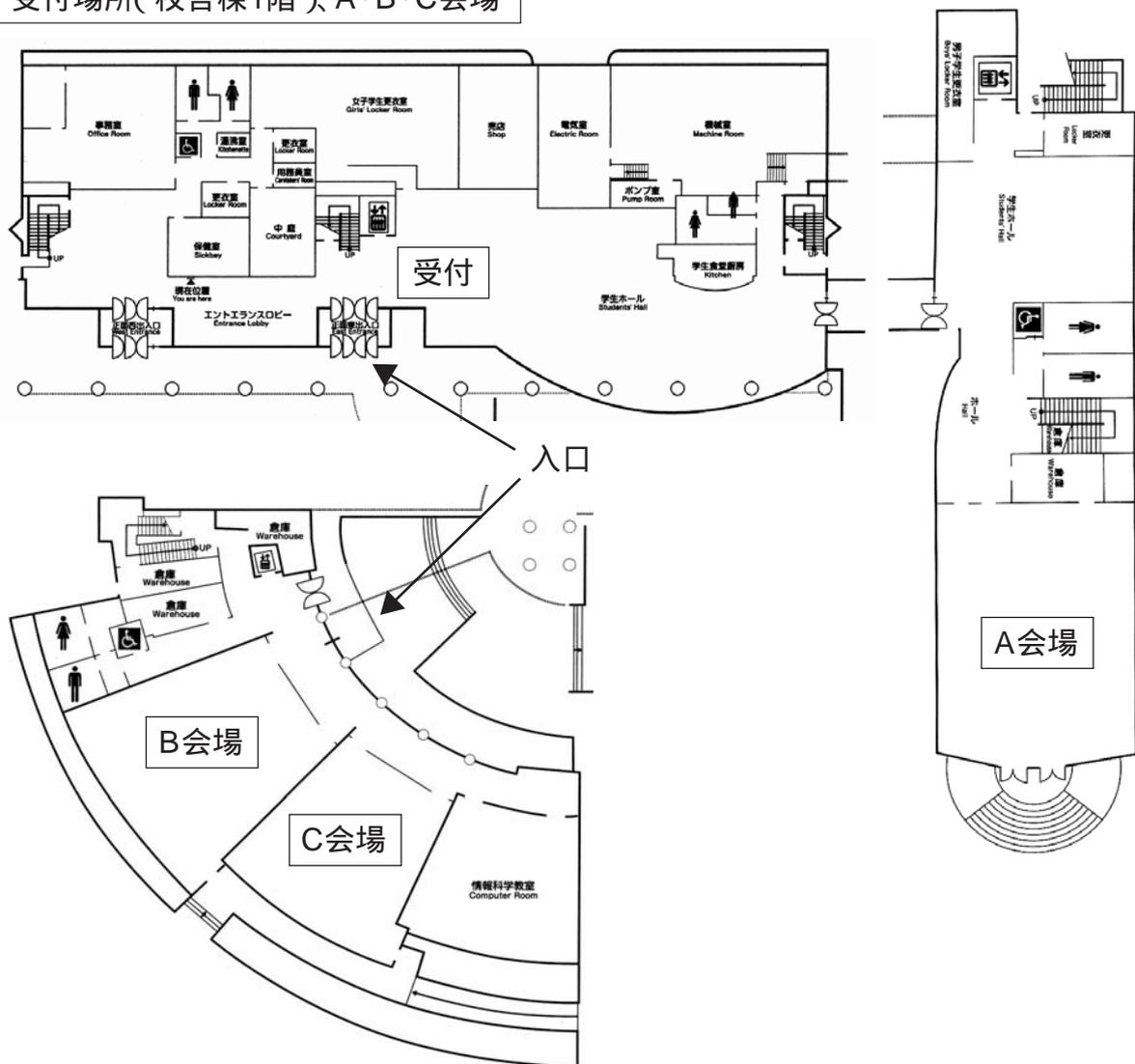
大阪駅発	天王寺駅	和歌山駅	紀三井寺駅	
番ホーム	番ホーム	乗り換え	番ホーム	
7:30発	7:49発	8:57着	9:15発	9:21着
7:56発	8:13発	9:22着		
8:07発	8:27発	9:42着	9:45発	9:51着

復路

紀三井寺発	和歌山駅	(のりかえ)	天王寺駅	大阪駅
17:24発	17:32着	17:32発	18:41着	18:59着
		17:41発	18:58着	
		17:50発	19:09着	19:32着
		18:06発	19:18着	
18:03発	18:10着	18:10発	19:28着	19:47着
		18:28発	19:39発	20:00着
		20:12発	21:16着	
		20:14発	21:26着	21:44着



受付場所(校舎棟1階)、A・B・C会場



研究室だより

滋賀医科大学小児科 高野知行

現在、滋賀医科大学小児科学教室で進めている研究のうち、今回は3つの研究グループを紹介します。

1. 代謝内分泌グループ：UDP-グルクロン酸転移酵素（UGT）に関する研究

UDP-グルクロン酸転移酵素ファミリーはヒトのホルモンなどの内因性物質や薬剤や環境物質などの外因性物質の解毒を行なう重要な酵素群である。私たちの研究室はこの酵素群に関して国内外の研究をリードしてきた。主たる研究内容は、UGTの異常により引き起こされるヒトの病気のメカニズムの解明やUGTの多型による薬剤の副作用を解明するための基礎的研究である。

1) 遺伝性非抱合型高ビリルビン血症の研究

UGTのなかでも、UGT1A1（ビリルビンUDP-グルクロン酸転移酵素）についての研究は遺伝性非抱合型高ビリルビン血症性（Crigler-Najjar症候群，Gilbert症候群）の遺伝子診断をもとに、病気の発症メカニズムの解明を行なっている。この研究の過程で私たちは日本人にはUGT1A1に遺伝子多型が存在することを明らかにし、それがGilbert症候群の日本人における頻度が人口の5 - 6%と非常に高いこと、母乳性黄疸の乳児側の原因である事を解明してきた。これらの疾患については日本国内のみならず、海外の症例の診断もおこなっている。遺伝子解析から培養細胞を用いた発現実験をもとに研究を進めている。

2) UDP-グルクロン酸転移酵素（UGT）の遺伝子多型と薬剤代謝に関する研究

UGTはビリルビンのみならず、膨大な数の薬剤や内因性物質の解毒をおこなっており、なかでも1型ファミリー（UGT1）の研究を行っている。UGT1には9つのアイソフォームがあり（UGT1A1-1A10）、各々の酵素がそれぞれ多数の物質の解毒を行なっている。この研究において、私たちは日本人に存在するたくさんの遺伝子多型を発見し、培養細胞を用いた発現実験で、

遺伝子多型がさまざまな薬剤にたいするUGTの代謝活性に変化をおよぼすことを発見し、報告してきた。これらの研究データは、臨床の現場における個人の薬剤の感受性の違いや副作用の発現の危険性を推測するための基礎となりうる。

2. 血液腫瘍グループ

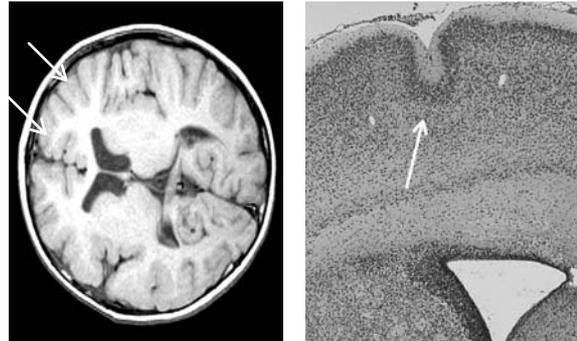
滋賀医大小児科血液腫瘍グループは、太田茂現臨床研修センター長をチーフとし、小児科開設当初から活動している。臨床研究としては、小児がんでもっとも頻度の高い急性白血病に対し、1980年代から小児がん白血病研究グループに参加し、急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫を中心に治療研究をおこなってきた。その結果、急性リンパ性白血病の5年無イベント生存率（EFS）は、80年代は40%程度であったが、年々成績向上がみられ、2000年代には70 - 80%にまで改善している。急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫についてもそれぞれ治療成績の改善がみられている。2003年には日本小児白血病リンパ腫研究グループが設立され、希少な小児血液腫瘍疾患を中心に全日本で統一した治療研究がおこなわれるようになった。我々もそれに参加し、10以上の臨床試験に参加している。また、これ以外にも、神経芽腫、横紋筋肉腫、脳腫瘍などの難治性固形腫瘍、再生不良性貧血などの難治性血液疾患の全国規模の臨床研究にも参加している。基礎的研究としては、小児がんの中でも極めて難治である悪性ラブドイド腫瘍を中心とした小児固形腫瘍の発生源などについて、数多くの細胞培養株を用いて薬剤による分化誘導などを行うことにより、その発生源、分化方向、制御方法などに関する研究をおこなっている。その成果は数多くの英語論文で報告され、そのうち6編は学位論文となっている。

3. 神経グループ：皮質形成異常とけいれん準備性

神経グループでは大脳皮質奇形の発生病理とそのけいれん準備性に関する研究を行っています。大脳皮質奇形は難治性てんかんの重要な成因の一つですが、大脳皮質奇形を有するすべ

ての患児がてんかんを発症することはなく、そのてんかん原性の発現メカニズムについては不明な点が多く残されています。私たちはこれまで、ハムスターを用いたイボテン酸の脳内接種による皮質形成異常の実験系において、上衣下異所性灰白質、皮質下異所性灰白質、および多小脳回症の発生病態を解析してきました。この実験モデルの特徴は(1)自発性のてんかん発作を示さない、(2)1つの脳検体に上衣下異所性灰白質、皮質下異所性灰白質、または多小脳回を含む、複数の皮質形成異常を有する、(3)海馬に病変を有さない、の3点です。これら、1個体に複数の皮質形成異常を有するものの海馬病変を欠き、さらにてんかんを合併しないという点は、多くのヒトの大脳皮質奇形の臨床像に類似する特徴でもあります。現在、こ

のモデルを用いて大脳皮質奇形を有する脳組織におけるけいれん準備性の発現基盤を形態学的に解析しています。(ヒトとハムスターの皮質形成異常を図に示しました。)



ヒトの皮質形成異常(左)とハムスターの皮質形成異常(右)を示す。矢印の部位が異常部分。

平成22年度第3回近畿学校保健学会 幹事会議事録

日時：平成23年1月30日(日曜日)

10:00~11:30

場所：大阪教育大学 天王寺キャンパス中央館
3階315講義室

出席：(幹事長)宮下、
(常任幹事)白石、西岡、森岡、
(幹事)中川、井上、笹山、八木、大川、
北口、後和、松嶋、宮井、森川、吉岡、
川畑、永井、中村、笠次、高橋、辻井、
武田
(幹事長補佐)福元 (計23名・順不同)

議事

- 第58回近畿学校保健学会年次学会開催要項について
 - 森岡学会長より、平成23年7月開催の年次学会の概要について説明があった。
 - なお議決事項があれば、年次学会における評議員会で審査、その後直ちに学会総会で

承認を行う形式が提案され、承認された。

2. 学会の活性化について

- 西岡常任理事より資料配布のうえ、説明がなされた。
- また、(1)関連学会と合同で研究会を開催したり、統計等の勉強会を主催すること、(2)HPに会員ログインページを設定し、活発な交流の場を提供する、(3)学会でパワーポイント資料を作成し、関連学会行事の紹介を行う、(4)入会パンフレットを充実させた内容(具体案提案)に改定し、各自HPからダウンロードして活用することなどが諸幹事より提案され、了承された。

3. 学会通信の発行について

- 白石常任理事より128号予定稿が提示され、あとがきを加えた後、2月中に発行予定の旨が説明された。
- 次号の研究室紹介は滋賀担当となるが、中川幹事より滋賀医大小児科所属の会員に依頼される旨説明があった。

4. 評議員の推薦について

- 中村幹事より、空席となっていた兵庫県梓

の評議員について、役員選出規定に基づき兵庫教育大学の鬼頭英明教授の推薦がなされ（兵庫県6人全員の幹事承認済）、全会一致で承認が得られた。

- ・滋賀県が定員14名のところ1名の欠員があり、滋賀より推薦があれば、次回の幹事会で評議することが確認された。
5. 名誉会員の推薦について
 - ・宮下幹事長より、5月20日までに学会事務局へ推薦の届け出があれば、次回幹事会で協議する予定である旨説明があった。
 6. 第59回近畿学校保健学会年次学会について
 - ・平成24年度年次学会は、京都府で開催される予定が説明された。なお、次期年度学会長について、京都府より京都教育大学井上教授が推薦され、拍手で承認された。
 7. その他
 - 1) 日本学校保健学会総会開催に関して
2012年11月9-11日開催の日本学校保健学会総会開催に関して、川畑幹事より資料配布のうえ説明がなされた。
 - 2) ホームページドメイン変更について
白石常任理事より、神戸学術事業会管理の新規ドメイン候補一覧表の配布、説明がなされた。なお、HP管理を委託する場合、

初期費用は25,000円程度であること。また、変更のタイミングは本年度の年次学会後の予定となった。

- 3) 次回の幹事会の日程・会場について
6月4日（土曜）14時過ぎより和歌山県立医科大学保健看護学部（和歌山市三葛）での開催が正式決定された。
- 4) 本年の年次学会について
 - (1) Macの使用可否について問い合わせあり。
森岡学会長より確認ののち、結果を学会通信で公表する旨回答があった。
 - (2) 内容に関して、午前は一般演題、午後
の教育講演1時間、シンポジウム2時間。
なお、昼食懇談会は12時15分から1時間、
評議員会は13時20分から14時まで。
学会は17時で終了し、アバローム紀の国
に移動して懇親会を実施予定である。
 - (3) 学会の研究活性化目的で、年次学会賞を
授与することが森岡年次学会長より提案
され、了承された。なお筆頭発表者のう
ち、大学院生（年齢を問わず）と若手研
究者（発表当日40歳未満）をノミネート
対象とすることおよびシンポジウムのあ
と、閉会の挨拶時に授賞式を取り行うこ
とが了承された。

編集後記

学会通信129号では、まず、第58回近畿学校保健学会（学会長森岡郁晴先生）をご案内しました。学会では、「子どもが伸びる睡眠とは」「子ども達を取り巻くネット環境」など、現代的テーマが取り上げられ、一般演題としても、多彩な33題が発表されます。昼食時には、皆さんが一般演題の座長を囲んで懇談する機会が設けられました。夜の懇親会も楽しみです。奮ってご参加下さい。研究室紹介は、滋賀医科大学小児科学教室にお願いしました。同教室の先端的研究に敬服致します。ご活躍は、本学会会員としても誇りに思います。

ところで、学会通信は、年次学会とともに、本学会の存在価値に関わるものです。通信の提供する情報の充実が欠かせません。今回、日本学校保健会やJKYB研究会による研修の情報を掲載しました。今後、会員の皆さんのご協力も得て、研究団体、学会、教育行政による会の情報など、さらに幅広い掲載を予定しています。皆さんからも、貴重な、魅力的な、刺激的な情報の提供をお願いします。

近畿学校保健学会常任幹事 西岡伸紀